



祐介の目

大田ゆうすけ No.38
(福山市議会議員)

毎月1日号に掲載

日系人の多いマウイにおいて戦中・戦後に彼らが舐めた辛酸の歴史を伺った。彼らの苦勞を土台にして、今後どのように関係を発展させていくかが課題だ。マウイは自然豊かな島、高校生や大学生の交換留学により交流を拡大させたいものだ。

親善友好都市との関係

10月初旬、韓国の姉妹都市・浦項市の山岳会一行が大山登山に来日された。私は福山山岳会による歓迎会にて「国と国の関係は雲の下の話、私達山を愛する者は雲の上で交流しましょう」と呼び掛けたところ、拍手喝采であった。

同時期に日韓トップ囲碁対局が鞆の浦で開催されたが、イベントの陰の主役は故木谷実九段の子息である木谷正道さんだ。木谷さんは両国の課題解決に向けての囲碁活用の可能性を探っている。私も関係改善には何か共通する趣味を媒体にするのが有効と感じている。ハワイの姉妹都市マウイ郡にも9月末に福山市訪問団を派遣し、島最大のイベント「カウティフェアー」に参加することが恒例になっている。しかし、ハワイと言えば真珠湾、マウイも日本軍潜水艦による砲撃を受けている。私も訪問し、

ロバン市はまさに戦争の歴史の上で姉妹都市となった。今年マッカーサーのレイテ島上陸から70周年、10月20日の上陸記念日には盛大な式典が開催された。アキノ大統領は「70年前、日本軍の軍政から解放され我々は自由を取り戻した。しかし、日本も今は平和国家となり、良き友達である」と友好的なスピーチをされた。

戦後、日本兵は「ドロボウ」バカヤロー」の罵声を浴びて引揚げ船に乗り込んだが、その後の日本の支援が認められ、今では親日国と言って過言ではない。上陸記念式典でお会いした元ゲリラの老人は「私の兄はバターンで戦死したが、今日からお前は友達だよ」と受け入れてくれ、心癒される一瞬であった。皆さんもぜひ福山市の親善友好都市を訪れていただきたい。その民間交流こそが国際間の関係改善の一步になる事は間違いないだろう。